

第6章 総合評価

第5章にて整理した各項目における評価等は表6-1のとおりです。

「都市計画の一体性・総合性の確保」、「適切な規模及び必要な位置への配置」、「円滑な都市活動の確保」に関しては、それぞれの評価項目を満足しているものと評価します。

「自然的環境の整備又は保全」に関しては、大気質・騒音・動物・景観に影響を与える可能性があることから、今後の手続きを進めていく中で、必要に応じて適切な対策を検討します。

なお、各評価項目について、環境影響の回避が困難、又は必ずしも十分に低減されないおそれがある場合には、今後実施する環境影響評価において、調査、予測及び評価を行い、必要に応じて適切な環境保全措置を検討します。

「良好な都市環境の保持」に関しては、一団の農地を通過することから、農地への影響については、今後の手続きの中で検討を進めます。

表6-1 (1) 総合評価

評価分野	評価項目	評価結果
都市計画の一体性・総合性の確保	■沿道土地利用など他の都市計画との整合性	・昭和44年に都市計画決定済みであり、現行の都市計画決定区域に基づき土地区画整理事業や鉄道事業などが計画・整備されていることから、沿道の土地利用など他の都市計画と一体性・整合性が図られているものと評価します。
自然的環境の整備又は保全	■大気質	・市川市～鎌ケ谷市間、鎌ケ谷市～船橋市間のいずれの区間ルートも、一部が市街地を通過します。このため、大気質・騒音に影響を与える可能性があるものと評価します。
	■騒音	
	■動物	・市川市～鎌ケ谷市間のルートは、タガメやゲンジボタルの一部の生息地を通過すると予測します。このため、動物に影響を与える可能性があるものと評価します。 ・鎌ケ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、重要な種の生息地等の改変は生じません。このため、動物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
	■植物	・市川市～鎌ケ谷市間のルートは、重要な種の生育地等を回避していると予測します。このため、植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 ・鎌ケ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、重要な種・群落の生育地等の改変は生じません。このため、植物に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
	■生態系	・市川市～鎌ケ谷市間のルートは、まとまって存在する自然環境を回避していると予測します。このため、生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。 ・鎌ケ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、まとまって存在する自然環境の改変は生じません。このため、生態系に影響を与える可能性は小さいものと評価します。

表 6-1 (2) 総合評価

評価分野	評価項目	評価結果
自然的環境の整備又は保全	■ 景観	<ul style="list-style-type: none"> 市川市～鎌ヶ谷市間のルートは、主要な景観資源の大町周辺の森を通過すると予測します。このため、景観に影響を与える可能性があるとして評価します。 鎌ヶ谷市～船橋市間のルートは、既に整備済みの一般部の内側に専用部を整備する計画であり、主要な景観資源等の改変は生じません。このため、景観に影響を与える可能性は小さいものと評価します。
適切な規模及び必要な位置への配置	■ 適切な道路の配置	<ul style="list-style-type: none"> 昭和 44 年に都市計画決定済みであり、現行の都市計画決定区域に基づき土地区画整理事業や鉄道事業などが計画・整備され、沿道の土地利用など他の都市計画との一体性・整合性が図られていることから、適切な道路の配置がなされているものと評価します。
円滑な都市活動の確保	■ 産業活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路のインターチェンジへのアクセス時間の短縮効果や都心から成田空港への移動時間の短縮効果が期待されるため、産業活動の支援に資するものと評価します。
	■ 周辺道路の渋滞の緩和	<ul style="list-style-type: none"> 新たな東西方向の幹線道路として機能することにより、交通容量が拡大され、交通の分散が期待されることから、周辺道路の渋滞の緩和に資するものと評価します。
	■ 災害時のネットワークの向上	<ul style="list-style-type: none"> 緊急輸送道路の新たな東西軸として機能することにより、信頼性の高い緊急輸送道路ネットワークが形成されることから、災害時のネットワークの向上に資するものと評価します。
良好な都市環境の保持	■ 農業的土地利用への影響	<ul style="list-style-type: none"> 一部地域において一団の農地を通過することから、農業的土地利用への影響は少なからずあるものと評価します。